

2026 年 10 月 22 日

株式会社ゼンリン

「地方自治情報化推進フェア 2026」に出展 “地理空間情報 × 地域共創”をテーマに 地域課題解決を支援するソリューションを紹介

株式会社ゼンリン（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：竹川道郎、以下ゼンリン）は、2026年10月27日（火）、10月28日（水）の2日間、幕張メッセにて開催される「地方自治情報化推進フェア2026」に出展します。本展示会では、地域の自治体・事業者との共創による地域課題の解決事例として、ゼンリンが保有する地理空間情報を活用した複数のソリューションを紹介します。

■ 出展概要

人口減少やインフラの老朽化、交通網の縮小など、自治体が抱える課題が複雑化するなか、ゼンリンは日本全国約 70 の調査拠点で収集したあらゆる情報を地理空間情報として管理、活用し、自治体や地域企業などとの共創を通じて、地域課題解決支援の取り組みを進めています。

本展示会では空き家対策、地域交通、防災、インフラ維持管理などをテーマに、調査・分析から情報発信・住民サービス向上までを一体的に支援する各種サービスを、デモや導入事例を交えて展示します。

※参考：ゼンリンの地域共創: <https://www.zenrin.co.jp/company/co-creation/index.html>

地理空間情報 × 地域共創

ゼンリンの地理空間情報を活用した地域課題の解決を支援するソリューションを紹介

空き家対策

交通空白解消

有事の情報発信

避難所運営

道路維持管理

街のメンテナンス

① 空き家の実態把握から対策までを支援: 空き家対策 DX

ゼンリンが保有する空き家情報を GIS や地図コンテンツ上で可視化し、空き家の分布、管理状態、対応履歴、地域特性などの直感的な把握を実現します。基礎資料づくりから、計画策定後の台帳管理、庁内外の関係者共有、予防啓発のための市民への情報発信まで、空き家対策業務を継続的に支援します。

② 交通空白地域の解消を支援: 配車アプリ・システム「NORAN」

公共ライドシェア、乗合タクシー、一般タクシーなどの配車・予約を可能にするオンデマンド配車アプリ・システムです。住民や観光客の移動機会拡大や、地域交通の需要創出、運行効率化に貢献します。また、乗降実績などの運行データの収集・分析を通し、自治体における交通空白地域の解消を支援します。

（共同開発: アルパインマーケティング株式会社）

※参考：福岡県宗像市での導入事例: <https://www.zenrin.co.jp/information/product/260205.html>

③ 有事における住民への迅速な情報発信を支援:WEB 総合マップ

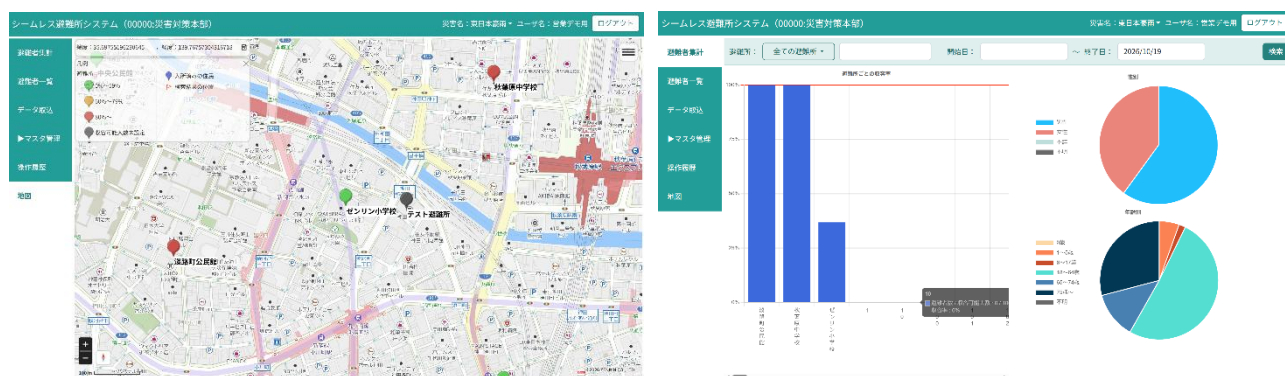
ハザードマップや都市計画図・クマ出没などの地理的情報を WEB 上でまとめて公開できるほか、発信したい情報の即時更新が可能。有事における自治体から住民への迅速な情報提供を支援します。

④ 災害時の避難所運営の効率化支援:シームレス避難所システム

災害時に開設される避難所受付のデジタル化により、避難者情報の収集・集計・共有を効率化します。年齢・性別などの属性情報を避難所別に整理・可視化し、災害対策本部における状況把握、物資配分、応援要請、報告業務に必要な情報を一元管理することで、避難所の効率的な運営を支援します。

※参考:秋田県横手市での導入事例:

<https://www.zenrin.co.jp/product/casestudy/example/co-creation/yokote-seamlesssheter/index.html>



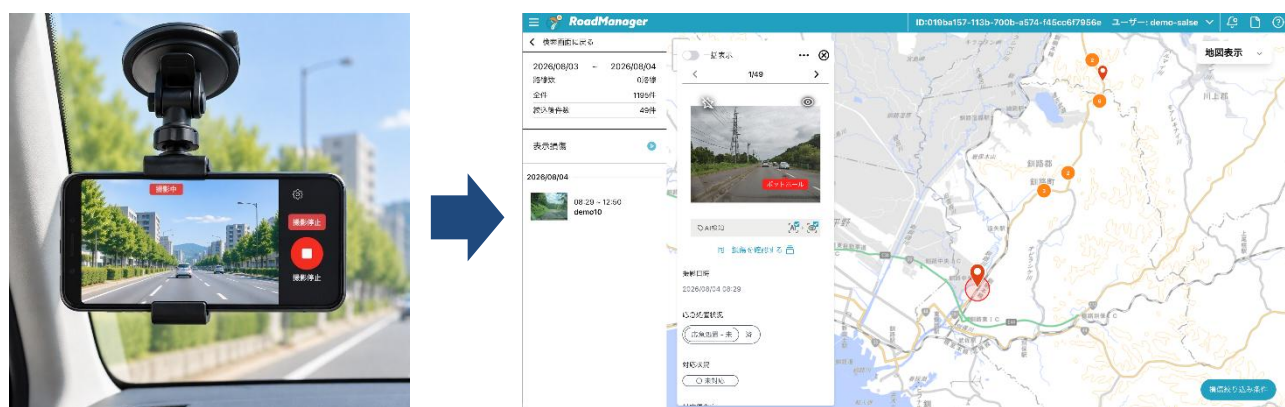
▲シームレス避難所システム 管理画面のイメージ

⑤ 道路維持管理の効率化を支援:RoadManager

スマートフォンを巡回車両に設置して走行するだけで、スマートフォンが撮影した画像から AI が道路損傷を自動検知します。検知した損傷は位置情報・画像とともに地図データ上で管理でき、コストを抑えつつ、点検業務の効率化や、データに基づく修繕計画の検討を支援します。

(連携企業:株式会社アーバンエクステクノロジーズ)

※参考:サービスページ「RoadManager」: <https://www.zenrin.co.jp/product/category/appservice/road-manager/index.html>



▲巡回車両にスマートフォンを設置し走行することでクラウド上に撮影データを自動アップロード
AI が自動検知した道路損傷情報の地図データ上での確認が可能

⑥ 住民と自治体によるまちの課題解決を支援:My City Report

住民が道路や公園など、まちで見つけた「こまった」ことをスマートフォンで投稿できるサービスです。情報は自治体と共有でき、道路補修や不法投棄物の管理など、まちの効率的なメンテナンスを支援します。

※参考:サービスページ「My City Report」: <https://www.mycityreport.jp/>

■プレゼンテーション:ゼンリンの地図情報を活用した住民の行動変容促進手法を紹介

“自治体から住民への効果的な情報発信 DX”をテーマとしたプレゼンテーションを実施します。自然災害や熊の出没といった地域課題に対し、WEB ハザードマップやゼンリン住宅地図 LGWAN などの GIS を活用した情報発信により、住民の行動変容を促す具体的な事例や手法を紹介します。

タイトル	行動変容を促すには？GIS で実現する住民への情報発信 DX
時間	2026 年 10 月 27 日(火)14:30～15:15
会場	ベンダープレゼンテーション会場 C-4
登壇者	公共ソリューション事業推進部 営業推進課 並木 悠子

■展示会概要

展示会名	地方自治情報化推進フェア 2026 URL: https://fair.j-lis.go.jp/
開催時期	2026 年 10 月 27 日(火) 9:30～17:30 2026 年 10 月 28 日(水) 9:30～17:00
会場	幕張メッセ 展示ホール 1・2・3(千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1) アクセス: https://www.m-messe.co.jp/access/
ブース位置	041